

(様式第1号)

みなとSDGsパートナー 登録申請書

2023年8月30日

国土交通省港湾局長 殿

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第4条第1項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企業・団体名	NX仙台塩竈港運 株式会社
所在地	〒985-8522 宮城県塩釜市貞山通一丁目6番38号
代表者役職・氏名	代表取締役社長 佐藤 謙
担当者連絡先	電話： 022-364-5111
	メール： 022-367-1319
ウェブサイトURL	<a href="http://shiogama-koun.co.jp/">http://shiogama-koun.co.jp/</a>

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

<p>弊社は昭和19(1944)年に創業した運送業者であり、宮城県の仙台塩竈港を中心として、港湾運送事業、通関業、倉庫業、貨物自動車運送事業などを実施しています。</p>
---


















3側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標
✓環境 ✓社会 □経済	性別、年齢、障がいによる差別のないように取り組む。	管理職の女性比率 10%以上を目指す。
✓環境 ✓社会 □経済	社会貢献活動に取り組む。	港湾地区の清掃活動に継続的に取り組み、地域に貢献する。
✓環境 □社会 □経済	SDGs の達成に向けた経営理念、経営目標を社内 内で共有し、監視する。	ISO14001 の枠組みの中で達成状況の確認を行う。

(次項へ続く)

## SDGs達成に向けた具体的な取組

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	・女性管理職の登用に取組んでいる。 ・障害者雇用に取り組んでいる。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	・就業規則でハラスメント防止を明記している。 ・ハラスメント教育を実施している。 ・総務部(総務担当)に相談窓口を設置している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	・労働基準法の改正内容を経営陣も含めて共有している。 ・長時間労働是正の為に労働時間管理をしている。 ・多様な働き方を許容する勤務体制の整備、対応を行っている。								8.5 8.8									
	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している					4.4				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3							
	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	・Gマークの認定を取得している。 ・毎月1度以上の職場安全衛生委員会を開催するほか、本部安全衛生委員会を実施してレビューしている。			3					8									
	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	・メンタルヘルス診断を年に1度実施している。 ・保険指導員をメンタルヘルスの相談窓口として設置している。			3														
	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	・多様な人材が活躍できる様、人員配置に取り組んでいる。 ・2023年7月1日現在、3名の障がい者を雇用している。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	・官公庁や外郭団体、NXグループの研修を積極的に受講を促している。 ・社内研修を企画、実施し、効果測定を行っている。				4	5.5			8	9								
	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している						5.5			8.5		10.2 10.3							
	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	・年1度健康診断を実施している。 ・保険指導員が各職場を訪問して、健康相談を行っている。			3					8									
環境	【3Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3R(リデュース、リユース、リサイクル)の推進に取り組んでいる	・排出事業者として、廃棄物の分別に取り組み、3Rの推進に取り組んでいる。 ・電池回収の方法や分別を業務担当から周知している。										11.6	12.4 12.5		14.1				
	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	・自社の環境関連情報(エネルギーのみならず、廃棄物等を含む)を毎月集約し、把握している。								7.3				13					
	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている									7.2 7.3			12.4	13.3					

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																	
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																				
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	・有害化学物質のうち、フロンガスについては、フロン排出抑制法の枠組みで、遵守に努めている。			3.9			6.3					11.6	12.4						
15	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	・環境に配慮した営業展開(モーダルシフトの提案等)を推進して、環境の保全に努めている。						6.6								15				
16	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	・弊社が直接の水質悪化のトリガーにはなっていないが、利害関係者に海洋への油濁汚染防止の情報提供等を行い、水質汚染予防に努めている。						6.4 6.6												
17	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、または同等の環境マネジメント規格を取得している	・ISO14001の認証を取得している。			3.9			6	7				12	13.3	14	15				
18	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	・基本方針8に「省資源・省エネルギーにつとめ、環境にやさしいことを実施する」旨をHP上で開示している。 ・【予定】環境の取組結果の開示を検討する。											12.6							
19	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる								7.2					13						
20	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる												12.2	13	14	15				
製品・サービス	21	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	・ISO9001の認証を取得している。			3.9								12.4						
	22	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	・業務手順書の他、写真による可視化を進めている。 ・業務フローにより無理無駄を予防し、業務の改善に努めている。											9						
	23	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	・環境に配慮したサービスを提供している顧客の運送の一端に加わることによって、環境に貢献している。						6					12	13	14	15			
	24	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	・サービスのライフサイクルの視点から、モーダルシフトの提案を促進し、環境に配慮したサービスの展開を推進している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
社会貢献・地域貢献	25	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している					4						9	11	12		14	15		17
	26	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	・定期的に港湾地区の清掃活動に取り組んでいる。				4							11			14	15		17
	27	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用(地消地産、地産外商)している	・利用運送事業者に地元企業を登録するなど、地域振興に配慮している。										8	9	11	12	13			

カテゴリ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
28	【内部管理体制】 ・SDGsの達成に向けた経営理念及び経営目標を社内でも共有している	・ISOの枠組みの中で、環境に配慮した年次目標と実施計画を支店ごとに定め、社内でも共有している。								8	9							17	
29	【法令遵守】 ・反社会的勢力の排除、汚職や贈収賄、不正競争行為の防止など法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	・就業規則で反社会的勢力の排除等を明示している。 ・総務部総務担当が定期的にコンプライアンス研修を実施している。																16	
30	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している																	16	
31	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している(※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体)	・下請法の枠組みの中で、下請事業者等に該当する利害関係者との対話を行っている。																16 17	
32	【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	・年に1度ISO認証機関の第3者機関審査を受入れ、プロセスの実施状況、リスクの特定、マネジメント、レビューの各段階で評価を受ける体制を整備している。																16	
33	【社会的責任】 ・CSR(Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任)の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる																	16	
34	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	・BCPを策定している。									9		11		13.1		16		
35	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている									8	9							17	

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

- ・各カテゴリ毎に少なくとも1つ以上の項目に「具体的な取組」を記載して下さい。
- ・列の高さは適宜修正して頂いて構いませんが、取組がない事項であっても列を削除しないでください。(空欄で結構です。)
- ・今回の申請に合わせて、今後取り組む予定のものについても「具体的な取組」として記載頂くことが可能ですので、積極的に記載して下さい。
- ・なお、今後取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。
- ・取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。
- ・「主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目」はあくまでも標準的なゴールとターゲット番号を記載したものです。個別の取組に合わせて必要に応じて適宜変更して下さい。

(様式第4号)

令和6年10月18日

## SDGs達成に向けた取組及び指標の進捗状況報告書

国土交通省港湾局長 殿

所在地： 宮城県塩釜市貞山通一丁目6番38号

名称： NX仙台塩竈港運 株式会社

代表者： 佐藤 謙

登録年月日： 2023年9月29日

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第7条の規定により、下記のとおり進捗状況を報告します。

3側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標	指標の進捗状況
✓環境 ✓社会 □経済	性別、年齢、障がいによる差別のないように取り組む。	管理職の女性比率10%以上を目指す。	10/1時点で管理職の女性比率15%を達成しました。更なる女性の活躍を目指し、非管理職の育成に努めています。
✓環境 ✓社会 □経済	社会貢献活動に取り組む。	港湾地区の清掃活動に継続的に取り組み、地域に貢献する。	港湾清掃に留まらず、外郭団体の活動を通じて、社会貢献活動に取り組んでいます。また献血運動にも参加をしています。
✓環境 □社会 ✓経済	SDGsの達成に向けた経営理念、経営目標を社内で共有し、監視する。	環境に配慮した発電事業を行う企業を積極的に支援し、物流トータルでのCO2排出量削減を目指す。	2023年11月より営業運転を開始したバイオマス発電所の物流の一端を担い、物流トータルで持続的な脱炭素化に寄与しました。 社内の活動では、労務管理研修やコンプライアンス研修を行い労働環境の改善に取り組んだ他、エネルギー使用量の監視により環境活動に繋げています。また、はじめて電気自動車の導入も行いました。